



本資料は、米国アッヴィ社が2024年2月2日(米国時間)に発表したプレスリリースを一部、日本語に翻訳し、2024年2月8日(日本時間)、皆さまのご参考として供するものです。本資料の正式言語は英語であり、その内容および解釈については英語が優先します。本資料(英文)については、www.abbvie.comをご覧ください。なお本文中には日本未承認薬、未承認適応症に関する情報が含まれています。

PRESS RELEASE

2024年2月8日

アッヴィ、2023年第4四半期および通年の業績を発表

- 2023年度の希薄化後1株当たり利益(EPS)はGAAPベースで、59.0%減の2.72ドルでした。調整後希薄化後EPSは19.3%減の11.11ドルでした。これらには、2023年に取得した仕掛研究開発費およびマイルストーン支払に関連した1株当たり0.42ドルのマイナスの影響が含まれます。
- 2023年度の売上高は、報告ベースで6.4%減、営業ベースで5.9%減の543億1,800万ドルでした。
- イムノロジー(免疫)領域の2023年度の売上高は、ヒュミラ®のバイオシミラーの競争により、報告ベースで9.6%減、営業ベースで9.2%減の261億3,600万ドルでした。ヒュミラ®の売上高は、144億400万ドルでした。スキリージ®の売上高は、77億6,300万ドルでした。リンヴォック®の売上高は、39億6,900万ドルでした。
- がん領域の2023年度の売上高は、報告ベースで10.1%減、営業ベースで9.8%減の59億1,500万ドルでした。イムブルピカ®(日本ではヤンセンファーマ株式会社による承認・販売)の売上高は、35億9,600万ドルでした。ベネクレクスタ®の売上高は、22億8,800万ドルでした。
- 精神・神経疾患領域の2023年度の売上高は、報告ベースで18.2%増、営業ベースで18.5%増の77億1,700万ドルでした。ボトックス・セラピューティック(日本ではグラクソ・スミスクライン株式会社による承認承継・販売)の売上高は、29億9,100万ドルでした。Vraylar(日本では未承認・未発売)の売上高は、27億5,900万ドルでした。UbrelyvyおよびQulipta(日本では未承認・未発売)の売上高は合わせて、12億2,300万ドルでした。
- エステティックス領域の2023年度の売上高は、報告ベースで0.8%減、営業ベースで0.9%増の52億9,400万ドルでした。ボトックス・コスメティックの売上高は、26億8,200万ドルでした。ジュビダームの売上高は、13億7,800万ドルでした。
- 2023年第4四半期のGAAPベースの希薄化後EPSは66.7%減の0.46ドルでした。調整後希薄化後EPSは22.5%減の2.79ドルでした。これらには、2023年第4四半期に取得した仕掛研究開発費およびマイルストーン支払に関連した1株当たり0.15ドルのマイナスの影響が含まれます。
- 2023年第4四半期の売上高は、5.4%減の143億100万ドルでした。
- ImmunoGen および Cerevel Therapeutics の買収に関する正式契約を発表しました。補完的な資産を有することになり、アッヴィのがんおよび精神・神経疾患領域のポートフォリオを強化します。
- 2024年度における調整後希薄化後EPSの見通しは、11.05ドル~11.25ドルです。これには、ImmunoGen および Cerevel Therapeutics の買収による1株当たり0.32ドルの希薄化効果が含まれますが、買収は2024年半ばに完了する見通しです。仕掛研究開発費およびマイルストーン支払によるマイナスの影響は含まれません。
- 年平均成長率は2029年まで1桁台後半になると予想しています。スキリージ®とリンヴォック®の2027年の売り上げ見通しを合わせて270億ドル以上に引き上げます。



Ubrovelvy および Qulipta のピークセールスの見通しを合わせて 30 億ドル超に引き上げます。

米国イリノイ州ノースシカゴ、2024 年 2 月 2 日—アッヴィ(NYSE: ABBV)は、2023 年第 4 四半期および通年(2023 年 12 月 31 日終了)の業績を発表しました。

アッヴィの会長兼 CEO のリチャード・A・ゴンザレスは、次のように述べています。「好調な事業とヒュミラ®以外の成長基盤からの期待をはるかに上回る業績により、2023 年もまた素晴らしい年となりました。2023 年に R&D への投資を増加し、ImmunoGen および Cerevel Therapeutics の買収提案によりパイプラインを強化しました。2024 年はアッヴィにとってエキサイティングな 1 年となります。ヒュミラ®のバイオシミュラーによる影響をカバーし、適度な事業収益を達成した後、2025 年に顕著な成長に転じ、2029 年末まで 1 桁台後半の年平均成長率が達成可能な状況にあります」

2023 年第 4 四半期の業績

- 売上高は、5.4%減の 143 億 100 万ドルでした。
- イムノロジー(免疫)領域の売上高は、ヒュミラ®のバイオシミュラーの競争により、12.3%減の 69 億 5,300 万ドルでした。
 - ヒュミラ®の売上高は、報告ベースで 40.8%減、営業ベースで 40.7%減の 33 億 400 万ドルでした。米国での売上高は、45.3%減の 27 億 4,000 万ドルで、米国外では報告ベースで 1.5%減、営業ベースで 1.0%減の 5 億 6,400 万ドルでした。
 - スキリージ®の売上高は、報告ベースで 51.9%増、営業ベースで 51.6%増の 23 億 9,400 万ドルでした。
 - リンヴォック®の売上高は、報告ベースで 62.9%増、営業ベースで 62.8%増の 12 億 5,500 万ドルでした。
- がん領域の売上高は、報告ベースで 7.4%減、営業ベースで 7.6%減の 15 億 900 万ドルでした。
 - イムブルビカ®(日本ではヤンセンファーマ株式会社による承認・販売)の売上高は 19.0%減の 9 億 300 万ドルで、その内訳は、米国内が 6 億 8,300 万ドル、米国外が 2 億 2,000 万ドルでした。
 - ベネクレクスタ®の売上高は、報告ベースで 14.3%増、営業ベースで 13.7%増の 5 億 8,900 万ドルでした。
- 精神・神経疾患領域の売上高は、報告ベースで 22.6%増、営業ベースで 22.4%増の 20 億 9,400 万ドルでした。
 - ボトックス・セラピューティック(日本ではグラクソ・スミスクライン株式会社による承認承継・販売)の売上高は、報告ベースで 6.6%増、営業ベースで 6.7%増の 7 億 7,600 万ドルでした。
 - Vraylar(日本で未承認・未発売)の売上高は、39.8%増の 7 億 8,900 万ドルでした。
 - Ubrovelvy(日本で未承認・未発売)の売上高は、18.9%増の 2 億 3,400 万ドルでした。
 - Qulipta(日本で未承認・未発売)の売上高は、1 億 1,400 万ドルでした。
- エステティックス領域の売上高は、報告ベースで 6.4%増、営業ベースで 6.9%増の 13 億 7,100 万ドルでした。



- ボトックス・コスメティックの売上高は、報告ベースで 11.8%増、営業ベースで 12.3%増の、7 億 1,800 万ドルでした。
- ジュビダームの売上高は、報告ベースで 3.4%増、営業ベースで 3.8%増の 3 億 3,400 万ドルでした。
- GAAP ベースで、売上総利益率は 60.1%でした。調整後売上総利益率は 83.9%でした。
- GAAP ベースで、売上高に占める販売費および一般管理費の割合は、22.3%でした。調整後の売上高に占める販売費および一般管理費の割合は 24.7%でした。
- GAAP ベースで、売上高に占める研究開発費の割合は、13.5%でした。調整後の研究開発費の売上高に占める割合は、パイプラインへの投資を反映し、13.4%でした。
- 取得した仕掛研究開発費およびマイルストーン支払の売上高に占める割合は 2.0%でした。
- GAAP ベースで、営業利益率は 22.3%でした。調整後営業利益率は 43.8%でした。
- 純支払利息は 3 億 7,800 万ドルでした。調整後支払利息は 3 億 6,300 万ドルでした。
- GAAP ベースで、税率は 32.1%でした。調整後の税率は、17.2%でした。
- 希薄化後 EPS は、GAAP ベースで 0.46ドルでした。特定項目を除く調整後希薄化後 EPS は、2.79ドルでした。これらには、取得した仕掛研究開発費およびマイルストーン支払に関連した 1 株当たり 0.15ドルのマイナスの影響が含まれます。

注意：「営業ベース(Operational)」の対比は、恒常為替レートで提示し、前年の為替レートにより現地通貨売上高の比較を実施しています。

詳細な情報はこちらをご覧ください(英文オリジナル)。

<https://news.abbvie.com/2024-02-02-AbbVie-Reports-Full-Year-and-Fourth-Quarter-2023-Financial-Results>

アッヴィについて

アッヴィのミッションは現在の深刻な健康課題を解決する革新的な医薬品の創製とソリューションの提供、そして未来に向けて医療上の困難な課題に挑むことです。一人ひとりの人生を豊かなものにするため次の主要領域に取り組んでいます。免疫疾患、がん、精神・神経疾患、アイケア、さらに美容医療関連のアラガン・エステティックサポートフォリオの製品・サービスです。アッヴィの詳細については、www.abbvie.com をご覧ください。X(旧 Twitter) [@abbvie](https://twitter.com/abbvie)、[Facebook](https://www.facebook.com/abbvie)、[LinkedIn](https://www.linkedin.com/company/abbvie) や [Instagram](https://www.instagram.com/abbvie) でも情報を公開しています。

Forward-Looking Statements

Some statements in this news release are, or may be considered, forward-looking statements for purposes of the Private Securities Litigation Reform Act of 1995. The words "believe," "expect," "anticipate," "project" and similar expressions and uses of future or conditional verbs, generally identify forward-looking statements. AbbVie cautions that these forward-looking statements are subject to risks and uncertainties that may cause actual results to differ materially from those expressed or implied in the forward-looking statements. Such risks and uncertainties include, but are not limited to, risks related to the proposed acquisitions of ImmunoGen and Cerevel Therapeutics, including the possibility that either or both of such acquisitions may not be consummated on the anticipated timeframe or at all,



risks related to the ability to realize the anticipated benefits of the proposed acquisitions on the anticipated timeframe or at all, risks that the costs to consummate either or both acquisitions or to obtain the anticipated benefits of the proposed acquisitions could be greater than expected, the risk that an event occurs that could give rise to the right of AbbVie, on the one hand, or ImmunoGen or Cerevel Therapeutics, on the other hand, to terminate the acquisition agreements for such transactions, the risk that the businesses will not be integrated successfully, disruption from the proposed acquisitions making it more difficult to maintain business and operational relationships, the diversion of management's attention from ongoing business operations and opportunities, negative effects of the consummation of the proposed acquisitions on business or employee relationships or the market price of the Company's common stock and/or operating results, significant transaction costs, the assumption of unknown liabilities, the risk of litigation and/or regulatory actions related to the proposed acquisitions or ImmunoGen's or Cerevel Therapeutics's business, risks related to the financing of the proposed acquisitions, challenges to intellectual property, competition from other products, difficulties inherent in the research and development process, adverse litigation or government action, and changes to laws and regulations applicable to our industry. Additional information about the economic, competitive, governmental, technological and other factors that may affect AbbVie's, ImmunoGen's and Cerevel Therapeutics's operations is set forth in Item 1A, "Risk Factors," of AbbVie's 2022 Annual Report on Form 10-K, which has been filed with the Securities and Exchange Commission, as updated by its Quarterly Reports on Form 10-Q and in other documents that AbbVie subsequently files with the Securities and Exchange Commission that update, supplement or supersede such information; Item 1A, "Risk Factors," of ImmunoGen's 2022 Annual Report on Form 10-K, which has been filed with the Securities and Exchange Commission, as updated by its Quarterly Reports on Form 10-Q and in other documents that ImmunoGen subsequently files with the Securities and Exchange Commission that update, supplement or supersede such information; and Item 1A, "Risk Factors," of Cerevel Therapeutics's 2022 Annual Report on Form 10-K, which has been filed with the Securities and Exchange Commission, as updated by its Quarterly Reports on Form 10-Q and in other documents that Cerevel Therapeutics subsequently files with the Securities and Exchange Commission that update, supplement or supersede such information. AbbVie undertakes no obligation, and specifically declines, to release publicly any revisions to forward-looking statements as a result of subsequent events or developments, except as required by law.